



高い山ほど、平地にくらべて気温が低いのは、なぜ

100メートルごとに、気温は約0.6度下がる

地面は、太陽の熱を受けて暖められています。暖められた地面から、熱が少しずつ放出されます。放出された熱の影響は、土地が高くなるにつれて、だんだん少なくなります。ですから、高い山ほど気温が低くなることとなります。

気温が下がる割合は、高さ100メートルにつき約0.6度です。3000メートルからの山の気温は、8月の初めで9度で、これは東京の11月末か3月末のすずしさです。

風は高い山ほど強くなる

風速が毎秒1メートル増すごとに、体感温度(体で感じる温度)は、約1度低くなります。風は山が高くなるほど強くなり、富士山の高さで、夏は平地の約2倍、冬は約5倍ぐらいの強さになります。風の強さが強くなるほど、体感温度が低くなるので、平地に比べて数倍気温が低くなったと感じます。(監修・村山 貢司)

山の気温と平地の気温のちがい

